



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 富士ダイス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6167 URL http://www.fujidie.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西嶋 守男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長兼企画本部長 (氏名) 春田 善和 (TEL) 03-3759-7182
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 8,803 | 7.4 | 787 | 31.7 | 788 | 37.1 | 577 | 45.0 |
| 29年3月期第2四半期 | 8,193 | 2.1 | 597 | 28.8 | 574 | 28.5 | 398 | 31.4 |

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 592百万円(179.3%) 29年3月期第2四半期 212百万円(△6.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 28.85 | — |
| 29年3月期第2四半期 | 19.90 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 25,002 | 17,989 | 71.9 |
| 29年3月期 | 25,245 | 17,836 | 70.7 |

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 17,989百万円 29年3月期 17,836百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | 22.00 | 22.00 |
| 30年3月期 | — | 0.00 | | | |
| 30年3月期(予想) | | | — | 22.00 | 22.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|-----|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 16,868 | 1.3 | 1,110 | △4.4 | 1,214 | 1.6 | 900 | 5.2 | 45.00 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年3月期2Q | 20,000,000株 | 29年3月期 | 20,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期2Q | ー株 | 29年3月期 | ー株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 30年3月期2Q | 20,000,000株 | 29年3月期2Q | 20,000,000株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直し等を背景に景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、北朝鮮を取り巻く情勢は緊迫しており、また中国をはじめとした新興国の景気下振れリスク、英国のEU離脱問題、米国の新政権の政策動向等、依然として景気を下押しするリスク要素も多く、先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況のなか、当社グループは前年度に引き続き「革新」を年度方針に掲げ、高品質・低コスト・短納期・充実したサービスの向上に努めてまいりました。また、持続的な成長を目指し、①業務の効率化による収益率の向上、②海外売上への拡大・国内市場の深耕、③成長分野への注力に取り組んでおり、業務の効率化の一環として、平成29年5月に門司工場の生産機能を停止し、主に熊本製造所に生産を集約しております。なお、事業の成長、企業価値の向上を目指し、平成29年4月12日に東京証券取引所市場第一部への指定替えを行っております。

超硬製工具類では、冷間フォーミングロールや混練工具、超高压発生用工具の販売が堅調に推移したことに加え、海外向けの溝付きロールや生産設備用の刃物類の販売も増加し、売上高は2,345百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

超硬製金型類では、自動車部品生産用金型が堅調に推移したものの、製缶金型や光学素子成形用金型が前年度特需の反動減で低調となり、売上高は2,075百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

その他の超硬製品では、スマートフォン部品生産用や自動車部品生産用の超硬金型素材および粉碎機用の刃物素材の販売が増加し、売上高は1,954百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

超硬以外の製品では、引抜鋼管が前年度からの好調を維持したことに加え、鋼製およびセラミックス製の自動車部品生産用金型等の販売も堅調に推移し、売上高は2,427百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,803百万円（前年同期比7.4%増）となりました。利益につきましては、受注が引き続き好調に推移したことから、売上高の増加、稼働率の向上による原価率の低減等により営業利益は787百万円（前年同期比31.7%増）、経常利益は為替差損が減少したことにより788百万円（前年同期比37.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は577百万円（前年同期比45.0%増）となりました。

なお、当社グループは耐摩耗工具関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、25,002百万円（前連結会計年度末25,245百万円）となり、242百万円減少いたしました。流動資産は13,885百万円（前連結会計年度末14,056百万円）となり、170百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が547百万円減少、受取手形及び売掛金が224百万円増加、仕掛品が166百万円増加したことによるものであります。また、固定資産は11,117百万円（前連結会計年度末11,188百万円）となり、71百万円減少いたしました。これは主に、建物及び構築物（純額）が126百万円減少、工具、器具及び備品（純額）が74百万円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債の部は、7,013百万円（前連結会計年度末7,409百万円）となり、395百万円減少いたしました。流動負債は5,202百万円（前連結会計年度末5,545百万円）となり、343百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他に含まれる設備支払手形が719百万円減少、未払費用が483百万円減少、賞与引当金が546百万円増加したことによるものであります。また、固定負債は1,811百万円（前連結会計年度末1,863百万円）となり、51百万円減少いたしました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は、17,989百万円（前連結会計年度末17,836百万円）となり、152百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が577百万円増加、配当金の支払いにより利益剰余金が440百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ558百万円減少し、5,948百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益788百万円、減価償却費510百万円の計上などにより1,166百万円の収入(前年同期は1,118百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出1,195百万円などにより1,209百万円の支出(前年同期は1,220百万円の支出)となりました。この結果、フリー・キャッシュ・フローは43百万円の支出(前年同期は102百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払額440百万円などにより507百万円の支出(前年同期は416百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月31日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて平成30年3月期第2四半期累計期間の業績予想を修正いたしましたが、通期の業績につきましては、原材料価格の上昇や老朽設備の代替等の設備投資、修繕費の増加等を見込んでおり、平成29年5月11日付の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,681 | 5,134 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,768 | 4,993 |
| 有価証券 | 1,000 | 1,000 |
| 商品及び製品 | 136 | 136 |
| 仕掛品 | 1,240 | 1,407 |
| 原材料及び貯蔵品 | 839 | 872 |
| 繰延税金資産 | 173 | 174 |
| その他 | 220 | 171 |
| 貸倒引当金 | △3 | △4 |
| 流動資産合計 | 14,056 | 13,885 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,393 | 4,266 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,817 | 2,768 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 241 | 316 |
| 土地 | 2,701 | 2,699 |
| 建設仮勘定 | 2 | 1 |
| 有形固定資産合計 | 10,156 | 10,052 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 142 | 143 |
| 無形固定資産合計 | 142 | 143 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 354 | 399 |
| 長期貸付金 | 24 | 23 |
| 繰延税金資産 | 424 | 409 |
| その他 | 88 | 90 |
| 貸倒引当金 | △1 | △1 |
| 投資その他の資産合計 | 890 | 921 |
| 固定資産合計 | 11,188 | 11,117 |
| 資産合計 | 25,245 | 25,002 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,178 | 2,479 |
| 短期借入金 | 383 | 382 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 72 | 46 |
| リース債務 | 25 | 23 |
| 未払金 | 686 | 806 |
| 未払費用 | 777 | 293 |
| 未払法人税等 | 318 | 226 |
| 賞与引当金 | 280 | 827 |
| 役員賞与引当金 | 27 | — |
| その他 | 794 | 115 |
| 流動負債合計 | 5,545 | 5,202 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 108 | 77 |
| リース債務 | 27 | 19 |
| 繰延税金負債 | 8 | 10 |
| 役員退職慰労引当金 | 1 | 0 |
| 退職給付に係る負債 | 1,710 | 1,701 |
| その他 | 7 | 2 |
| 固定負債合計 | 1,863 | 1,811 |
| 負債合計 | 7,409 | 7,013 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 164 | 164 |
| 利益剰余金 | 17,492 | 17,629 |
| 株主資本合計 | 17,656 | 17,793 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 102 | 128 |
| 為替換算調整勘定 | 183 | 168 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △105 | △101 |
| その他の包括利益累計額合計 | 179 | 195 |
| 純資産合計 | 17,836 | 17,989 |
| 負債純資産合計 | 25,245 | 25,002 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 8,193 | 8,803 |
| 売上原価 | 6,120 | 6,461 |
| 売上総利益 | 2,073 | 2,342 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,475 | 1,554 |
| 営業利益 | 597 | 787 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5 | 4 |
| 受取配当金 | 5 | 6 |
| 受取賃貸料 | 12 | 11 |
| その他 | 10 | 11 |
| 営業外収益合計 | 33 | 34 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8 | 6 |
| 為替差損 | 44 | 20 |
| その他 | 3 | 6 |
| 営業外費用合計 | 55 | 33 |
| 経常利益 | 574 | 788 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | 4 |
| その他 | — | 0 |
| 特別利益合計 | 2 | 5 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | 0 |
| 固定資産除却損 | 0 | 1 |
| 減損損失 | — | 1 |
| 特別退職金 | 36 | — |
| 特別損失合計 | 36 | 4 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 540 | 788 |
| 法人税等 | 142 | 211 |
| 四半期純利益 | 398 | 577 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 398 | 577 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 398 | 577 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 13 | 26 |
| 為替換算調整勘定 | △206 | △14 |
| 退職給付に係る調整額 | 7 | 4 |
| その他の包括利益合計 | △185 | 15 |
| 四半期包括利益 | 212 | 592 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 212 | 592 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 540 | 788 |
| 減価償却費 | 468 | 510 |
| 減損損失 | — | 1 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 509 | 546 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △10 | △27 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 9 | △2 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △7 | △1 |
| 受取利息及び受取配当金 | △10 | △11 |
| 支払利息 | 8 | 6 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △2 | △4 |
| 固定資産除却損 | 0 | 1 |
| 特別退職金 | 36 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △187 | △226 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 216 | △201 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 41 | 299 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 39 | 217 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | △488 | △483 |
| その他 | △19 | 47 |
| 小計 | 1,144 | 1,461 |
| 利息及び配当金の受取額 | 8 | 8 |
| 利息の支払額 | △8 | △6 |
| 特別退職金の支払額 | △36 | △8 |
| 法人税等の支払額 | △38 | △287 |
| 法人税等の還付額 | 48 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,118 | 1,166 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △65 | △71 |
| 定期預金の払戻による収入 | 68 | 58 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △6 | △7 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 0 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,152 | △1,195 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 2 | 6 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △72 | △1 |
| 貸付けによる支出 | — | △0 |
| 貸付金の回収による収入 | 6 | 1 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,220 | △1,209 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 4 | 12 |
| 短期借入金の返済による支出 | △4 | △12 |
| 長期借入れによる収入 | 78 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △34 | △55 |
| リース債務の返済による支出 | △20 | △12 |
| 配当金の支払額 | △440 | △440 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △416 | △507 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △80 | △7 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △599 | △558 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,583 | 6,506 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,983 | 5,948 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。